2　後志の自然　NATURE

羊蹄山やニセコ山系をはじめ、積丹半島など、それぞれの地域が特色ある多様な自然景観を形成しており、３つの自然公園がある。

■　四季を織りなす豊かな自然

羊蹄山、ニセコ山系、積丹半島

- 火山の影響を受け、多様な自然景観を形成。
- 積丹半島海岸部には多くの奇岩、断崖絶壁が見られる。
- 羊蹄山は「蝦夷富士」と呼ばれ、登山者や来訪者を魅了している。

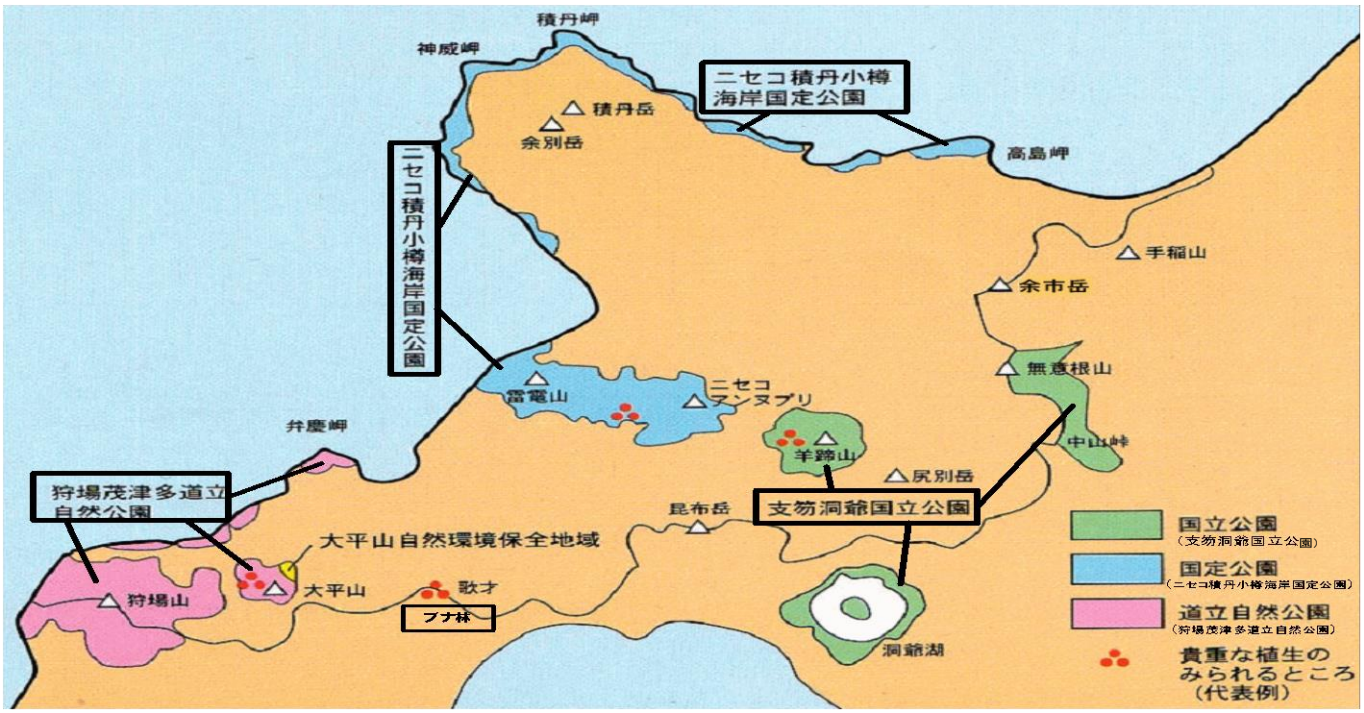
（ニセコ積丹小樽海岸国定公園の神威岬付近）

水質がキレイな後志の河川

- アユの生息で名高い「朱太川」や「余市川」。
- 羊蹄山麓から流れて日本海に注ぐ、後志最長の「尻別川」。

後志南部

- 黒松内低地帯やその周辺は、温帯性の樹木である「ブナ」が自生し、黒松内町歌才のブナ林などが北限。

■　３つの自然公園

自然公園名	1　支笏洞爺国立公園	2　ニセコ積丹小樽海岸国定公園	3　狩場茂津多道立自然公園
指定年月日	昭和25年5月16日	昭和38年7月24日	昭和47年6月23日
区域面積	99, 473ha	陸域:19, 009ha　海域公園地区:43. 6ha	22, 647ha
うち後志管内面積	6, 826ha	陸域:19, 009ha　海域公園地区:43. 6ha	13, 586ha
主な特徴	羊蹄山の高山植物は国の天然記念物	・海岸線は美しい岩礁と急峻な断崖絶壁から形成 ・ニセコ山系の山々には湿原植物群落やアカエゾマツ林など学術上も貴重な植物が分布	・「日本の滝100選」に選ばれた島牧村の「賀老の滝」 ・変化に富んだ美しい海岸線 ・学術的にも貴重な大平山の石灰岩植生 ※隣接する大平山の東斜面は、国の自然環境保全地域に指定